動画研修会

これからの理学療法士を考える

― 病院から地域へ。そして行政へ。私たちの未来を考える ―

あなたの「気づき」が、これからの理学療法をつくる。

これからの理学療法士には、何ができるのか？

社会や医療・介護のあり方が変化する中で、理学療法士に求められる役割も変わりつつあります。
2人の講師による動画講義を視聴した後、参加者同士で語り合いながら、「自分たちにできること」「これから必要なこと」を考え、最後に「私たちからの提言」につなげます。

第1部

2026年11月12日（木）
19:00～20:30
Zoomによるオンライン開催

CURE KOBEから考える理学療法士の可能性

動画の内容



病院から地域へ

急性期医療の現場での実践や「CURE KOBE」の取り組みを通して、病院から地域へ広がる理学療法士の役割と、これからの可能性を紹介します。

講義のポイント

登録ポイント：区分1-8　1.5ポイント

- 急性期医療の現場での実践と、「CURE KOBE」の取り組みを紹介。
- 病院から地域へ広がる支援の流れを知る。
- これからの理学療法士にできること・期待される役割を考える。

講師の紹介



岩田 健太郎 先生
神戸市立医療センター中央市民病院
リハビリテーション技術部 技師長

第2部

2026年11月24日（火）
19:00～20:30
Zoomによるオンライン開催

理学療法士には、地域を動かす・変える力がある

動画の内容



行政での実践経験をもとに、地域リハビリテーション、介護予防、地域づくりの取り組みを紹介します。
「人を支える」から「地域を支える」へ、理学療法士の可能性を考えます。

講義のポイント

登録ポイント：区分1-19　1.5ポイント

- 地域リハビリテーションや介護予防、地域づくりの実践事例を紹介。
- ケアマネジャー支援や地域ケア会議、住民主体の活動など、幅広い取り組みを知る。
- 「人」への支援から「地域」へのアプローチまで、理学療法士の可能性を考える。

講師の紹介



おおさか 伸子 先生
大阪府大東市市長

聞いて終わりではなく、「考えて、話して、つなげる」研修へ

動画を見る（各約45分） → 語り合う（約15分） → 意見を共有・整理 → 私たちからの提言

2つの講義から得た気づきを、「自分たちにできること」につなげます。

開催概要

第1部	2026年11月12日（木）　19:00～20:30
第2部	2026年11月24日（火）　19:00～20:30
開催方法	Zoomによるオンライン開催
参加費	連盟会員　1部 または 2部のみ　1,000円
	1部 + 2部 両方参加　1,500円

今回、新しく連盟に入会される方
研修参加＋連盟年会費
まとめて **2,000円！**
※今回の研修を機に入会される方が対象です。

対象

理学療法士をはじめ、
これからの医療・介護・地域づくりに
関心のある方

こんな方におすすめ

- ☑ これからの理学療法士の役割を考えたい
- ☑ 管理職・主任など、組織を担う立場にある
- ☑ これから組織を担う立場を目指している
- ☑ 地域活動・地域リハビリテーションに関心がある
- ☑ 行政・地域づくり・まちづくりに関心がある
- ☑ 「もっとできることがあるのでは？」と感じている

お申し込み・お問合せ

二次元コードよりお申し込みください

お問合せ
企画局　小野
Kptmo.2022@gmail.com

主催：鹿児島県理学療法士連盟